

国土交通省

協会の 構成員	【幹事】前橋市、東日本旅客鉄道(株)高崎支社、 (一社)ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構(TOPIC)、(大)群馬大学、 (株)NTTデータ、(株)NTTドコモ、(株)未来シェア、(一社)群馬県バス協会、 前橋地区タクシー協会、上毛電気鉄道(株)		マイナンバーカードとの連携による運賃施策		
地域課題	- 公共交通の維持のための市の財政負担の増加 - 高齢運転者による交通事故の増加 - 交通空白地域の住民の外出機会の減少		実証実験全体概要 路線バスのデジタルフリーパス・店舗特典		
取組の概 要	期間	2020年12月21日～2021年3月12日			
	エリア	群馬県前橋市全域			
	MaaSシステム	JR東日本が提供するWebサービス型MaaS「ググっとぐんMaaS」に前橋市専用の実証実験用ページを構築			
	交通サービス	- デマンド交通「るんるんバス」「ふるさとバス」の予約一元化 - ドアツードア型デマンド交通「AI配車タクシー」実証実験 - 路線バスのデジタルフリーパスの販売 - マイナンバーカード認証基盤と連携し、市民認証による前橋市民割引の提供 - 自動運転バスも含めたシャトルバス区間において、マイナンバーカードを活用した顔認証検証の実施		検証結果 - 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を多分に受け、利用実績は伸び悩んだ結果であったが、利用者からは提供するサービスの運賃や内容について、外出頻度の向上に繋がるとの高評価を得た。 - ドアツードア型デマンド交通について、料金設定等に関して適正運賃との評価を得るとともに、外出行動の増加に資するサービスとして評価を得た。 - 市民割引について、利用者からはサービス利用法及び価格に対し、満足との評価を得た。 - 顔認証乗降について、過半数が手ぶら乗車は容易であるとし、今後様々なモビリティへの展開を期待する声も高く、その利便性及び社会的な受容性を確認した。 今後の方向性 - 実証実験を踏まえ、MaaSサービスの拡充を図るとともに、利用者目線に立った使いやすく利便性の高いシステム及びサービス環境の構築を進める。 - 地域の交通事業者も含めた関係事業者とともに本格運行に応じた持続可能な運用体制の検討及び構築を進める。	
検証内容	- 定額制デジタルチケットによる中心部の回遊性向上の検証 - ドアツードア方式のデマンド交通による移動困難者の外出率の向上の検証 - マイナンバーカードを活用した市民割引の社会受容性検証 - 顔認証による手ぶら乗車の利便性の検証				
			前橋市が取り組んでいる交通再編を有効化し公共交通の利用者数増加に繋がるサービスとすべく検証を実施する		